

平成27年度



赤木っ子だより

平成27年5月21日 No.4 文責 校長 橋本 忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども



1年生が学校探検をしました（先週）

1年生だけで、5月14日(木)に校内を探検しました。校長室に入る時は、出入口の所で「1年〇組の〇〇です。校長室に入っていいですか。」ときちんと断ってから、部屋に入りました。各自が部屋を見回して、不思議に思ったこと、例えば、「いっぱい写真がありますが、何ですか。」また、「校長先生のお仕事は何ですか。」などと質問する子どももいました。

わずか2か月足らずですが、友達と協力しながら一緒に探検し、入室の仕方や質問がしっかりでき、記録まで取ることができていました。

これも、子ども達の日々の真剣な学びと、ご家庭の協力と担任の指導のたまものです。

鼓笛パレードと運動会への協力、ありがとうございました。

先月24日(土)には、逢瀬川沿いの兩岸の道路を一周するコースで、鼓笛パレードが実施できました。新鼓笛隊になって初の鼓笛パレードでしたが、子ども達は落ち着いて堂々の行進と演奏を披露することができました。郡山警察署、交通安全母の会、交通安全専門員、PTA役員の方々が多数かけつけて、要所に立って誘導くださったので、安心して演奏することができました。“あかりん”も、長い距離を一緒に歩いてくれました。4年生・3年生・2年生・1年生の応援と多くの地域住民の方々の声援は子ども達に勇気を与え、充実した演奏につながりました。皆様方に感謝いたします。お陰さまで安全な中で、子ども達が存分に力を発揮できました。



6年生の授業に、元赤木小学校の校長先生であった宗形虎男先生が来校

先週の15日(金)、子ども達の学習に協力するために、宗形先生がおいでくださいました。約30年前、南側の土手には戦時中の横穴防空壕があり、上の住宅街が陥没の危険があるので補強工事をするために、何本もあった桜の木が全て伐採されることになりました。しかし、宗形先生は桜の木を残すために奮闘され守られました。それが生長し、現在の立派な桜の木になり、「虎桜」と命名されました。

実は「虎桜」のことを調べていた6年生の女子二人が、もっと詳しく調べたいと、宗形先



生に電話して直接取材しました。さらに、他の子ども達も同様に直接聞きたいと思っていることを知り、担任らが連絡・調整をしました。子ども達の学習意欲も担任の対応も、とても素晴らしいことです。

富岡町老人会のみなさまも運動会当日の4月25日(土)においでください、子ども達に大きな声援を送ってくださっていました。子ども達や保護者の皆さまの姿などについて、運動会後に富岡町の伊藤様がお手紙を寄せてくださいましたので、本人のご了解のもとに一部を紹介します。

(前略)

校庭に入った瞬間、なんて雰囲気のある学校なんだろうと思いました。

みなさんに感じ良く迎えていただき、楽しく応援できました。

(中略)

同窓会の会長さんまでご挨拶いただき感激いたしました。生徒さん一人一人立派に演技をしておりましたし、保護者の席もざわつきもなく一体となって進められておりました。

それもこれも先生方お一人お一人、心ひとつに指導にあたられているからでしょう。本当に楽しい一日でした。故里へいつ帰れるか分からない不安な日々を送っていますが、郡山の市民のみなさんには暖かく接していただき、本当に感謝しております。

本当に本日はありがとうございました。

こんなに喜んでいただけるのも、子ども達が直接「富岡町生活復興支援センター」に行ったこと、そして渡辺センター所長さんが配慮くださって、センターに来所されたいた方々に合わせてくださったからです。子ども達の思いやりの気持ちを大切にしていきます。



今年度の読み聞かせがスタートしました

5月上旬の連休明けの13日(水)から、読み聞かせボランティア「パステル」の皆さんが、活動を開始しました。子ども達のために、毎週水曜日の10時過ぎの休み時間に図書室で読み聞かせをしてくださっています。「パステル」の皆さんは、「一人であろうが二人であろうが、聞いてくれる子どもがいれば喜んで来ます。」と笑顔で話してくれます。



事情あって発行がしばらく遠のいておりましたが、今後は昨年ペースで、子ども達の頑張りや学校の様子などをお知らせしたいと考えています。